

【巡回指導〈3〉】いわき市立 勿来第二中学校

日程：2019年 6月8日（土）

参加者：勿来第二中学校（10名）/ 西先生、角田先生

指導者：小野章三（元堺ブレイザーズ）

同行者：事務局/高木副実行委員長、小色尚子



1年生が3名入部した3回目の指導は小野コーチです。この日は多彩な指導が行われました。まずは、バドミントンのシャトルを放物線に描いて遠くに飛ばすことを一人ずつにしてもらいました。「これはサーブと一緒にです。飛ばす先に足先は真っ直ぐですか？力まずに無駄の無い腕の振りのフォームになっていますか？反対の腕はどうですか？体の向きは？サーブの練習はボールを打つ事に集中してしまい、大切なことを忘れがちです。そこを意識しましょう」さあ、実際にバレーボールを使ってサーブの練習です。



気が付くとボールを打つ事に集中してフォームが乱れてきます。「何を目的としているか考え、意識すること。ただやるだけは練習ではないよ」と小野コーチから指摘されました。その後、チームに分かれ輪になり鬼から逃げるゲーム、輪からボールを外に出さずに足で運ぶゲームをしました。楽しそうな笑顔のみんなに小野コーチから「これはゲームじゃないよ、ステップの練習であり、考えて協力し合う事やコミュニケーションの練習です。楽しみながら練習をすることも大切です」と新しい練習法を教えてくださいました。



その後、ゴムを使ったアンダーパスの練習や、試合を想定したフォーメーションの指導がありました。体で覚えてもらおうと小野コーチが何度もプレーを繰り返す、今のプレーはどうすれば良かったと思う？と何度も問いかけます。息があがるほどきつい練習も弱音を吐かずに「もう一度お願いします！」とガッツを見せ、保護者の皆さんもコート近くの近くに駆け寄って来てくれました。最後は円陣を組んで頑張ったみんなを小野コーチが労い、チームみんなで心をつなげて声高らかに練習を終えました。勿来の海のような爽やかでキラキラとした笑顔と、前に向かって進もうとする意志の強さを見せてくれ、未知なる伸びしろと可能性を感じました。最高の笑顔で最後まで見送ってくれてとても嬉しかったです。またその笑顔に再会する日まで！頑張れ勿来二中！！